

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月21日

協議会名： 明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・経路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式事 業導入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、環島航路に係る確保維持事業において陸 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。) を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A・B・C 評価	A・B・C 評価	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
平和コーポレーション 株式会社	(1)上矢作線 (横道車庫→道の駅・岩村駅前)	前回の事業評価における改善 点を踏まえて、次の事業を実施 した。 【地域での協議】 ・地域懇談会にてデマンド交通 の運行方法について、より利用 しやすい内容に改正するよう協 議検討を実施。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(2)上矢作線 (押山→横道車庫→岩村駅前)	【再編内容】 ＜定時定路＞ ・R7.3月明知鉄道のダイヤ改正 に伴うバスのダイヤ改正を実 施。 ・R7.10可視化データを活用し利 用の少ない最終便を降車専用 とする効率化の実施。 ＜デマンド＞ ・R7.32地区隔日運行を1地区と し毎日利用できるよう再編 ・利用者ニーズに応じたミーテ ィングポイントの移設を実施。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(3)上矢作線 (大野→横道車庫→岩村駅前)	【再編内容】 ＜定時定路＞ ・R7.3月明知鉄道のダイヤ改正 に伴うバスのダイヤ改正を実 施。 ・R7.10可視化データを活用し利 用の少ない最終便を降車専用 とする効率化の実施。 ＜デマンド＞ ・R7.32地区隔日運行を1地区と し毎日利用できるよう再編 ・利用者ニーズに応じたミーテ ィングポイントの移設を実施。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(4)上矢作線 (横道車庫→道の駅・バロー岩村店)	【利用促進】 ・広報及び地域広報にて変更 内容の周知及びモデルコースチ ラシの作成配布。 ・バス乗り方教室を社会福祉協 議会職員向けに実施し指導者 の強化を図った。 ・高齢者公共交通利用支援 事業として、公共交通利用チ ケットを配布 ・エーなワンコインバスポートを 発行。 ・エーなまち得公共交通応援事 業を開始。 ・R7.3グリーン会員証購入会を3 日間開催。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(5)上矢作線 (大野→押山→バロー岩村店)	【利用促進】 ・広報及び地域広報にて変更 内容の周知及びモデルコースチ ラシの作成配布。 ・バス乗り方教室を社会福祉協 議会職員向けに実施し指導者 の強化を図った。 ・高齢者公共交通利用支援 事業として、公共交通利用チ ケットを配布 ・エーなワンコインバスポートを 発行。 ・エーなまち得公共交通応援事 業を開始。 ・R7.3グリーン会員証購入会を3 日間開催。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(6)上矢作線 (バロー岩村店→道の駅・押山)	【利用促進】 ・広報及び地域広報にて変更 内容の周知及びモデルコースチ ラシの作成配布。 ・バス乗り方教室を社会福祉協 議会職員向けに実施し指導者 の強化を図った。 ・高齢者公共交通利用支援 事業として、公共交通利用チ ケットを配布 ・エーなワンコインバスポートを 発行。 ・エーなまち得公共交通応援事 業を開始。 ・R7.3グリーン会員証購入会を3 日間開催。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
明知鉄道 株式会社	(7)明智まちなか線 (明智駅前→滝坂・明智駅前、おおさわ 医院→明智駅前)	【地域での協議】 ・明智地区の安心部会にて、デ マンド交通が4地区で隔日運行 は利用が難しい状況確認、改善 に向け協議検討を実施。 ・新規目的地の追加の検討。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(8)明智まちなか線 (明智駅前→滝坂・おおさわ医院→明智 駅前)	【再編内容】 ＜定時定路＞ ・R6.10可視化データを活用し 利用の少ない系統を他系統に 合わせ、利用しやすい便に再編 した。 ＜デマンド＞ ・R6.10 4地区を2地区とし毎日 利用できるよう再編した。 ・R6.10.12 地域の需要に応じた ミーティングポイントの新設及び 移設を実施	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(9)明智まちなか線 (明智駅前→おおさわ医院→明智駅前、 滝坂・新町→明智駅前)	【再編内容】 ＜定時定路＞ ・R6.10可視化データを活用し 利用の少ない系統を他系統に 合わせ、利用しやすい便に再編 した。 ＜デマンド＞ ・R6.10 4地区を2地区とし毎日 利用できるよう再編した。 ・R6.10.12 地域の需要に応じた ミーティングポイントの新設及び 移設を実施	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(10)明智まちなか線 (明智駅前→おおさわ医院→明智駅前、 滝坂→明智駅前)	【利用促進】 ・広報及び地域広報にて変更 内容の周知及びモデルコースチ ラシの作成配布。 ・バス乗り方教室を社会福祉協 議会職員向けに指導者の強化 を実施 ・高齢者公共交通利用支援 事業として、公共交通利用チ ケットを配布 ・エーなワンコインバスポートを 発行。 ・エーなまち得公共交通応援事 業を開始。 ・R7.3グリーン会員証購入会を3 日間開催。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(11)明智まちなか線 (明智駅前→片平・明智駅前→おおさわ 医院→明智駅前)	【利用促進】 ・広報及び地域広報にて変更 内容の周知及びモデルコースチ ラシの作成配布。 ・バス乗り方教室を社会福祉協 議会職員向けに指導者の強化 を実施 ・高齢者公共交通利用支援 事業として、公共交通利用チ ケットを配布 ・エーなワンコインバスポートを 発行。 ・エーなまち得公共交通応援事 業を開始。 ・R7.3グリーン会員証購入会を3 日間開催。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(12)明智まちなか線 (明智駅前→おおさわ医院→明智駅前、 片平・おおさわ医院→明智駅前)	【利用促進】 ・広報及び地域広報にて変更 内容の周知及びモデルコースチ ラシの作成配布。 ・バス乗り方教室を社会福祉協 議会職員向けに指導者の強化 を実施 ・高齢者公共交通利用支援 事業として、公共交通利用チ ケットを配布 ・エーなワンコインバスポートを 発行。 ・エーなまち得公共交通応援事 業を開始。 ・R7.3グリーン会員証購入会を3 日間開催。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(13)明智まちなか線 (明智駅前→おおさわ医院→明智駅前、 片平→明智駅前)	【利用促進】 ・広報及び地域広報にて変更 内容の周知及びモデルコースチ ラシの作成配布。 ・バス乗り方教室を社会福祉協 議会職員向けに指導者の強化 を実施 ・高齢者公共交通利用支援 事業として、公共交通利用チ ケットを配布 ・エーなワンコインバスポートを 発行。 ・エーなまち得公共交通応援事 業を開始。 ・R7.3グリーン会員証購入会を3 日間開催。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(14)明智デマンド線 西地区(阿妻・横通・吉良見・大泉)	【利用促進】 ・広報及び地域広報にて変更 内容の周知及びモデルコースチ ラシの作成配布。 ・バス乗り方教室を社会福祉協 議会職員向けに指導者の強化 を実施 ・高齢者公共交通利用支援 事業として、公共交通利用チ ケットを配布 ・エーなワンコインバスポートを 発行。 ・エーなまち得公共交通応援事 業を開始。 ・R7.3グリーン会員証購入会を3 日間開催。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】
	(15)明智デマンド線 東地区(東方・野志・杉野地区)	【利用促進】 ・広報及び地域広報にて変更 内容の周知及びモデルコースチ ラシの作成配布。 ・バス乗り方教室を社会福祉協 議会職員向けに指導者の強化 を実施 ・高齢者公共交通利用支援 事業として、公共交通利用チ ケットを配布 ・エーなワンコインバスポートを 発行。 ・エーなまち得公共交通応援事 業を開始。 ・R7.3グリーン会員証購入会を3 日間開催。	A	A	【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを 目標ごとに記載。目標・効果が達 成できなかった場合には、理由 等を分析の上記載】

＜地域公共交通計画の評価等結果の模式＞

明知鉄道沿線地域域公共交通活性化協議会 地域公共交通計画の評価等結果（令和6年10月～令和7年9月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
【目標1】 公共交通を「支える」 「活用する」地域住民の 活動促進	公共交通を「活用」する 団体数	各団体の記録 データの確認	達成状況：11団体 達成度：100% 分析：目標達成することができたが、継続して各団体により公共交通を絡めたイベントを実施することになった。	1日フリー切符などを周知しながら、地域イベントと連携を図る。	
	ボランティア運転手養成 講座の参加者数	実績報告の審査	達成状況：9人／年 達成度：24% 分析：実施するタイミミングもあり、今年度は受講者が少なかったが、地域の支え合い活動の一つとして、運営を地域住民が主体となっているのが定着してきたと考察する。	引き続き養成講座に要する費用の支援し、地域で安心安全で運行できるよう地域の意見を聞きながら継続させていく。	
【目標2】 持続可能な地域公共交通 ネットワークの形成	公共交通などで、沿線4 高校に通える中学校数	通学可能な運行 設定	達成状況：8校 達成度：89% 分析：目標には達しなかったが、継続してバス路線を維持することができた。	利用しやすい時間・運賃に設定したことも加えて、高校生の公共交通利用促進として、明知鉄道通学費支援やデジタル定期・回数券のPRを行い、利用者増を図る。	
	自主運行バス利用者 満足度	バス利用者や駅 周辺の聞き取り 調査を実施	達成状況：97.0% 達成度：92.0% 分析：目標には達しなかったが、満足度90%を超える結果を保っている。	全体の満足度でなく、不満、やや不満との意見にも注視し、各地域と協議を行い改善に取り組む。可視化データを活用し、ニーズに応じた時刻改正や路線再編を行う。	
【目標3】 域外から来た人や高齢者 が抵抗なく自然に移動で きる環境の整備	観光による公共交通利用 者数（観光列車、日帰り 旅コース）	観光ツアー等の 聞き取り調査	達成状況：12,245人 達成度：76% 分析：目標には達していないが、回復傾向にはある。	観光客もコロナ前の状態に戻りつつあるの で、外国人を含めた来訪者が抵抗なく自然 に移動できる環境を整える。交通コンシエ ルジュの周知の強化	
	グリーン会員証の発売枚 数	実績報告の審査	達成状況：713枚 達成度：79% 分析：前年度より増加傾向にあり、3月に3日間明知鉄 道の駅での購入会の開催による増加と考察する。	購入会の開催場所や日数の追加や、高齢者 が集うサロンや壮健クラブ地域協議会等 で周知を図るとともに、地域住民による鉄道 を支える機運の醸成を継続して図る。	

（記載に当たったの留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価にならないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「―」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の模式がある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月21日

協議会名：	明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	陸上交通における地域内フィーダー系統
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>基本的な方針：多くの担い手が連携し、多くの方々が安心して暮らし、おでかけできるまち</p> <p>目標1 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進 目標2 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成 目標3 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備</p>